

2026 年度事業計画
(2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

I.国際プログラム派遣

●ビレッジ(11 歳対象)

1. Delegation 派遣 15 カ所 75 名:1 チーム 5 名(こども 60 名 リーダー 15 名)

*以下含む

派遣支部	Reference No.	派遣先	期間	備考(性別、違反等)
関東	V-2025-031	フィリピン(パキオ)	2025/12/29～2026/1/20	
関西	V-2025-004	ブラジル(リオデジャネイロ)	2025/12/26～2026/1/22	返却
関西	V-2025-019	インド(ラクナウ)	2025/12/28～2026/1/24	

2.個人派遣 JC(16～17 歳)7 カ所 7 名 (男女 7 名)

*以下含む

派遣支部	Reference No.	対象年齢	派遣先	期間	備考(性別、違反等)
	V-2025-008	16.17	コスタリカ	2025/12/27～2026/1/23	女

●ユースミーティング(12～14 歳対象)

Delegation 派遣 9 カ所 45 名:1 チーム 5 名(こども 36 名 リーダー 9 名)

*以下含む

派遣支部	Reference No.	派遣先	期間	備考(性別、違反等)
関東	Y-2025-016	ドイツ(ハノーバ)	2025/12/28～2026/1/4	
関西	Y-2025-039	スウェーデン(ヨーテボリ)	2025/12/28～2026/1/4	

●ステップアップ(14～15 歳対象)

Delegation 派遣 4 カ所 20 名:1 チーム 5 名(こども 16 名 リーダー 4 名)

●セミナーキャンプ(16～17 歳対象) 若干名

II. 国際プログラム受入

●ビレッジ(11 歳対象)

第 86・87 回日本大会の開催

期間	開催支部(場所)	受け入れ人数
2026 年 7～8 月	関東支部(未定)	10 チーム(予定) JC
2026 年 7～8 月	東海支部(さとと館)	10 チーム JC

●ユースミーティング(12 歳以上対象)

第 22 回ユースミーティング日本大会の開催

期間	開催支部(場所)	受け入れ人数
2026/8/9～8/23(予定)	関西支部(未定)	名/プログラム(Delegation チーム)

●モザイク(国際承認申請プログラム)

期間	開催支部(場所)	名称	受け入れ人数
	関東支部		
	関東支部		
	東海支部		
	関西支部		
	九州支部		

Ⅲ.国際事業

事業名	開催場所	日時	担当部会	備考
TTT(JB 対象)	インドネシア(ジャカルタ)	2025/10/09～2025/10/13	ジュニア部会	
TTT	フィリピン		国際理事	
TEA			ジュニア部会	
RTF			国際理事	
APRW	インド(ムンバイ)		国際理事	
APAC	インド(ムンバイ)		国際理事	
Global Forum	未定		国際理事	
IJBC			ジュニア部会	
JASPARC	インド(ムンバイ)		ジュニア部会	

Ⅳ.国内事業

事業名	担当部署	日時	開催地
JAM	運営委員長	2025/10/11～12	関西(コプラザ)
トレーナー研修	STC/LTC 部会	2025/10/11～12	関西(コプラザ)
JBT	JB 部会	2025/10/11～12	関西(コプラザ)
JNW	STC/LTC 部会	2026/3	関東(オリンピックセンター)
ウインタースクール	ジュニア部会	2026/3	東海支部担当
ユースセミナー	ジュニア部会	2026/5	関東支部担当
サマースクール	ジュニア部会	2026/8	九州支部担当
SU 支部合同集合教育	SU 部会	2026/5/23～24	関西支部担当
NJBC&W	ジュニア部会	2026/8	
SST	STC 部会	2026/4～7	各支部
ディレクターズトレーニング	STC 部会	2026/4～7	各支部
ミッドキャンプエバリュエーション	STC 部会	2026/8	各支部
アフターキャンプレフレクション	STC 部会	2026/8～9	各支部

Ⅴ.活動内容

1. 国際理事

CISV 国際と国内の調整

- ① 各プログラムの部会長と連絡しながら、プログラムへの派遣や国際に関係ある事業が円滑に進むよう運営委員長と相談をしながら調整する
- ② プログラム部長会の開催
- ③ 日本の代表として必要に応じて議決権の行使、質問への回答等を行う。
- ④ 日本協会事務局と相談しながら、国際事務局への支払いの承認をする
- ⑤ 必要に応じて国際書類等を翻訳する
- ⑥ 支部長会に出席し、4 支部長との調整をする
- ⑦ 理事会に出席する。
- ⑧ 総会・セミナー・研修などで CISV 国際の情報を伝える
- ⑨ 部会長と必要に応じてミーティングを開催する。
- ⑩ APRW や臨時で開催される RTF に参加者を派遣する

2. ビレッジ

以下国際理事と連携しながら実行する

- ① ビレッジ活動に関する国際からの情報を支部に連絡し、また派遣国が決定するまでの間、国際との連絡を行う
- ② 派遣チームについて支部への分配、調整を行う
- ③ JC 派遣希望者の選考、調整を行う
- ④ 問題発生時に支部の相談窓口となり、国際、関係国等に連絡を行う
- ⑤ 支部関係者との情報交換、研修等を行う
- ⑥ JAM で部会を開催する

3. ユースミーティング

以下国際理事と連携しながら実行する

- ① 部会を実施し、募集、教育、派遣、開催が円滑に進むよう各支部メンバーと連携し、運営を行なう
- ② 2025 年度 YM 冬派遣(関東・関西)に関する調整を行う
- ③ 2026 年度 YM 日本大会(関西)に関する調整を行なう
- ④ 国際からのユースミーティングに関する情報を各支部に連絡する
- ⑤ 問題発生時に支部の相談窓口となり、国際、関係国等に連絡を行う

4. ステップアップ

以下国際理事と連携しながら実行する

- ① ステップアップ活動に関する国際からの情報を関係支部に連絡し、また派遣国が決定するまでの間、国際との連絡を行う
- ② 派遣チームについて支部への分配、調整を行う
- ③ 支部関係者との情報交換、研修等を行う
- ④ 問題発生時に支部の相談窓口となり、国際、関係国等に連絡を行う
- ⑤ JAM で部会を開催する
- ⑥ ステップアップリーダー向けに JNW 及び、支部内で研修を行う
- ⑦ 4 支部合同の集合教育を行う

日時 :2026 年 5 月 23 日(土)~5 月 24 日(日)予定

目的 ステップアップ派遣前に全参加者向けに JB によるアクティビティを受ける事が必須であり、よりプログラムを理解して参加するため

内容 各支部よりステップアップ参加者を集め、JB によるアクティビティを実施及びリーダーと参加者に向けた研修を実施

5. セミナーキャンプ

以下国際理事と連携しながら実行する

- ① セミナーキャンプ参加者の派遣実務
参加者の募集、応募者間調整・選考・決定、参加までのオリエンテーション、研修、帰国後のアンケート実施
- ② 各支部セミナーキャンプ委員会のサポート
時期 :2025 年 10 月 JAM 内容 :セミナーキャンプ部会を開催
対象 :各支部セミナーキャンプ委員長、副委員長、委員、セミナーキャンプ経験者等
- ③ セミナーキャンプ参加者研修を開催
時期 :部会としては四支部合同のオンラインで実施し、各支部での対面実施や集合教育・JB イベントへの参加を促進する
対象 :セミナーキャンプ参加者、セミナーキャンプ経験者等

4 国際事務局との連絡・調整、派遣

6. モザイク

- ① 2025 年 10 月 JAM: モザイク部会開催
- ② 通年:各支部モザイクプロジェクトフォロー
○関東支部:2 プロジェクト
○東海支部:1 プロジェクト
○関西支部:1 プロジェクト
○九州支部:1 プロジェクト

7. STC

以下教育研修担当理事と連携しながら実行する

目的 : STC educates and inspires actions for more fun and peaceful camps!

スタッフが充実したキャンプ運営を行うためのトレーニングを行う。

活動 : ①JAM(2025 年 10 月)および JNW(2026 年 3 月)にて部会を開催

②トレーナーズ研修を実施(2025 年 10 月)

③JNW(新リーダー・スタッフトレーニングを実施(2026 年 3 月)

④各支部にて宿泊トレーニング(SST)を実施(2025 年 7 月~8 月関東 VL、東海 VL、関西 YM)

⑤キャンプディレクターを対象としたトレーニングを実施(2026 年 5 月~7 月)

⑥関東 VL、東海 VL の開催中にミッドキャンプエバリュエーションを実施(2026 年 8 月)

⑦各キャンプ終了後にアフターキャンプリフレクションを実施(2026 年 8 月~9 月)

⑧各支部の STC 委員会のサポート:随時

⑨その他キャンプのスタッフのサポート:随時

⑩スタッフをサポートするトレーナーの育成:随時

※事業計画および予算は、2026 年夏に関東 VL、東海 VL、関西 YM を開催する前提とする。

開催キャンプが変更になった場合は、それに合わせて STC 部会の事業計画、予算の調整が必要となる。

8. LTC

以下教育研修担当理事と連携しながら実行する

目的 : LTC educates and inspires actions for more fun and peaceful camps!

参加者が充実したキャンプを送れるように、また、新リーダー・JC 自身もキャンプを有意義なものにできるように、派遣時・子どもとの関わり方に関する注意点や、CISV の概念を学び、アクトのプランニング・ハンドリングなどの実践的なトレーニングを行う。

活動 : ①JAM(2025 年 10 月)および JNW(2026 年 3 月)にて部会を開催

②トレーナーズ研修を実施(2025 年 10 月)

③JNW(新リーダー・スタッフトレーニングを実施(2026 年 3 月)

④各支部にて宿泊集合教育を実施(2026 年 6 月~7 月)

- ⑤各キャンプ終了後に各支部にてアフターキャンプエバリュエーションを実施(2026 年 8 月～9 月)
 - ⑥各支部の LTC 委員会のサポート: 随時
 - ⑦その他新リーダー・JC のサポート: 随時
 - ⑧新リーダー・JC をサポートするトレーナーの育成: 随時
- ※ 事業計画および予算は、2026 年夏に 4 支部から各プログラムへ派遣をすることを前提とする。
派遣キャンプが変更になった場合は、それに合わせて LTC 部会の事業計画、予算の調整が必要となる。

<JNW> Japan National Workshop

<事業計画>

以下教育研修担当理事と連携しながら実行する

目的 : 2026 年度の新リーダー・新スタッフ・新 JC、新 SC 参加者の導入教育・存続対策のためのパスト交流

内容 : 主に開催時／派遣時・子どもとの関わり方に関する注意点や

CISV の概念を学び、アクトに実践的に触れる時間となる。

※事業計画および予算は、2026 年夏に関東 VL、東海 VL、関西 YM、を開催すること、各支部から VL、YM、SU、SC へ派遣すること、JC を派遣することを前提とする。派遣・開催プログラムが変更になった場合は、それに合わせて本事業計画、予算の調整が必要となる。

9. ジュニア

- ① 各支部当該委員会との連絡調整、JB の継続的な活動の支援
- ② JAM での新年度の引き継ぎ
期間: 2025 年 10 月中旬 ※JAM 開催時 場所: 未定 参加人数: 18 名
内容: 国内 JB 活動運営面における旧部会長および旧各支部ジュニア委員長による新年度メンバーへの引き継ぎを行う。
また JBT (Junior Branch Training) を開催する。
- ③ Winter School の開催(担当支部: 東海) ※四支部行事の担当支部は NJBC で正式決定
期間: 2026 年 3 月下旬(4 泊 5 日) 場所: 未定 参加人数: 60 名
内容: 小中学生を対象としたプログラムである。
高校生以上はその運営・企画に携わることによって、リーダーシップトレーニングを受けることができる。
特にスタッフを経験することによって成長が期待できる。
- ④ Youth Seminar の開催(担当支部: 関東)
期間: 2026 年 5 月上旬(2 泊 3 日) 場所: 未定 参加人数: 30 名
内容: ディスカッションを中心に行う高校生以上を対象としたプログラムである。
国内 JB の研修および活動のプロモーションの場を兼ねる。
- ⑤ Summer School の開催(担当支部: 九州)
期間: 2026 年 8 月上旬(4 泊 5 日) 場所: 未定 参加人数: 40 名
内容: 前記 Winter School と同様
- ⑥ NJBC&W (National Junior Branch Conference & Workshop) の開催 (担当: ジュニア部会メンバー)
期間: 2026 年 8 月下旬(3 泊 4 日) 場所: 未定 参加人数: 25 名
内容: 国内 JB の最高決定会議を開催する。
詳細は National Junior Branch Conference 運営ガイドライン第 2 条を参照。同時に、ジュニアの基本的な知識の構築を目的として、全 JB を対象にした研修(Workshop)を行う。
- ⑦ 各支部当該委員会を中心とした国内 JB に向けた、JB 活動に関する国際からの情報の報告
- ⑧ Sr.NJR および Jr.NJR の活動支援
- ⑨ 各支部当該委員会のサポートを目的とした、委員やジュニア部会のプログラムスタッフとなる人を対象とした研修等への部会メンバーの派遣(支部当該委員会から要請があった場合のみ)
- ⑩ IJBC (International Junior Branch Conference) 部会派遣者の選出
- ⑪ JASPARC (Juniors Asia Pacific Regional Conference) 部会派遣者の選出
- ⑫ TEA (Teamwork of East Asia) 部会派遣者の選出
- ⑬ TTT (Train The Trainers) 部会派遣者の選出
- ⑭ CISV JB JAPAN グッズの製作・販売
- ⑮ 四支部合同 JBT (Junior Branch Training) の開催
- ⑯ 各支部 JBT の補助

10. デジタル

活動目的

- ① CISV 日本協会の運営・教育活動に有効利用できるようデジタルインフラストラクチャを整備し、持続的運営ができるような体制を作る。
(利用規則、利用ガイド、サポート体制の整備)
- ② デジタルインフラストラクチャとして Google Workspace と Web の協調利用を促進し、運営のデジタル化による作業の簡略化、会員サービスの向上を図る。
またこの一環として会員データベースの拡充を図る
- ③ Google Workspace の効果的な利用が各支部独自で展開できるよう、ユーザーログイン時の二段階認証を標準とする
また日本協会各支部と協力して、利用方法を確立する

- ④ Google Workspace の記録データのデータバックアップを見なおし、データ損失の可能性を低減する
- ⑤ デジタル技術についての教育を行い、会員の安全な技術利用を推進する。

主な活動計画

- デジタル部会会議 6 月
- 利用規則の再設定、デジタル体制(各支部でのユーザーサポートなど)の再確認 6 月
- Google Workspace と Web の協調利用の拡大、Web の利用法の検討 6 月
- データセキュリティその他のデジタル技術の基礎知識についてのセミナー開催 適宜(6～9 月)
- CISV 日本協会および各支部の Web ページの内容確認および改訂を広報委員会と協力して実施
- デジタルインフラストラクチャとして会員ディレクトリーの拡充を図り、またログイン時の二段階認証を標準とするよう方策を講じる
- Google Workspace のドライブのバックアップ HDD の設置

11. 広報プロモーション

- ① 広報活動に関する情報について
 - ・各支部の活動報告誌、募集活動などにおける掲載記事・提案事項の調整、報告を行う。
 - ・「CISV 日本協会ニュース」を編集発行し、通常総会後の結果報告送付時に会員宛て送付する。
 - ・必要に応じてパンフレット、ポスター等を製作する。
- ② その他の CISV のプロモーション活動について
 - ・支部の募集活動の支援。
- ③ 電子メディア活動に関する情報について、支部ウェブマスターやデジタル部会と調整する
 - ・日本協会ホームページの運営・管理を行う。
 - ・日本協会ホームページと各支部ホームページの管理統合を研究する。
 - ・運営委員の協力を得て Facebook の運営・管理を行う。
 - ・CISV 日本協会オフィシャル Instagram アカウント等 SNS の運用を行う。
 - ・CISV のメールマガジンを主に会員向けに発行する。
 - ・CISV メールマガジンの発行編集を行う。今後の継続を目指して、各支部との協力体制を築く。

12. 国内交流

<事業目的>

会員の相互交流により、会員をつなぎとめること、新しく CISV に興味をもって参加してくれる人を増やすこと、寄付やボランティアで手伝ってくれる人を増やすこと。
日本協会創立 70 周年事業を円滑に実施すること。

<活動内容>

各日本大会オープンディへの参加を促し、オープンディへの参加のみに留まらず、周辺エリアの観光地を巡るなど、

- ① 参加した会員同士が交流を深めることができる企画の立案および実施。
- ② 2027 年の CISV 日本協会の 70 周年記念事業実施に向けた実行委員会の立ち上げ。
- ③ 各参加年代別同窓会実施を働きかけ、70 周年記念事業実施に向けた意識の醸成を図る。

13. リスクマネジメント

- ① 各事業におけるリスクマネジメントの実践
- ② RAG への対応
- ③ “リスクマネジメント教育の継続 特に Safeguarding オンライン研修の支援 ”
- ④ 緊急時対応の再確認
各事業の実行に当たって適宜リスクマネジメントの観点からの助言・勧告等をおこなう
- ⑤ APRW 派遣

14. 運営委員長

- ① JAM の計画・運営
JAM 開催 場所: 大阪市立青少年センター KOKO PLAZA
時期: 2025/10/11～12
内容: 部会開催、トレーナー研修、JBT 開催の確認、その他研修等の実施
- ② 各支部活動実施に伴う問題点を検討、調整
- ③ 各支部からの承認依頼事項の検討並びに承認
- ④ オンラインミーティング開催

15. 関東支部

- ① 派遣委員会
 - ・派遣対象者の集合教育の実施
 - ・児童生徒の派遣に係る業務全般
 - ・帰国後にエバリュエーションおよび ACE の実施
 - ・国内外で開催されるビレッジ・ユースミーティング・ステップアップに派遣する児童生徒の募集・選考の実施

- ・国内外に派遣するジュニアカウンセラー(JC)の募集、採用面接、候補者の日本協会への推薦

② LTC 委員会

- ・ビレッジ・ユースミーティング・ステップアップに参加するリーダー・スタッフ・JC のトレーニングの実施
- ・ビレッジ・ユースミーティング・ステップアップに参加する youth participant を対象とした派遣前教育(集合教育)、派遣後教育(ACE)の実施
- ・ビレッジ・ユースミーティング・ステップアップのリーダーの募集・選考の実施
- ・日本大会(関東 SU)のキャンプディレクターおよびスタッフの募集・選考の実施(STC と合同実施)
- ・支部内他委員会が実施する諸事業への協力
- ・LTC 部会が実施する全支部合同研修への協力

③ セミナーキャンプ委員会

- ・セミナーキャンプ参加者の募集・選考の実施
- ・参加決定者への派遣前トレーニング、および派遣後のエバリュエーション、フォローアップ
- ・JNW、JAM 等でトレーニングやプランニングを行い派遣準備をすると同時に、個人派遣者がより CISV にコミットしやすい環境を作り出す
- ・参加者に、翌年度のトレーニングを手伝ってもらうことで、将来的なトレーナーを育成する
- ・参加者が、セミナーキャンプ委員会の担い手として、その運営に積極的に携わるよう促す

④ ジュニア委員会

- ・子どもたちに CISV をアピールするための行事の実施(初夏ハイキング/秋のハイキング/クリスマス会など)
- ・ジュニアたちの CISV への継続的な参加と互いの交流を促すため、JBT などのプログラムの実施
- ・会報誌「ハローファンタジー」を発行するなどキッズ/ジュニアに向けた広報活動の実施
- ・ジュニア部会のもと、四支部合同行事の実施

⑤ 大会委員会

- ・日本大会の実施
2026 年夏は VL (28 日間)プログラムを実施する。予定される主な事業内容は以下の通り
開催日程の確定、施設の選定、スタッフ、ディレクターの採用支援、ホームステイの調整、サポートボランティアの募集、ホストファミリー説明会の実施、PreCamp 作成支援、
問い合わせ窓口対応、ロジスティクス全般、前泊後泊の手配、国際スタッフ航空券の手配、地元自治体、観光協会、医療機関との連携、
VISA 申請用インビテーションシート作成、レンタル品の手配、備品運搬、管理、搬入搬出、大会に係る費用の清算
- ・大会報告誌の作成
- ・大会寄付金の依頼状の作成、送付、寄付金額の確認、お礼状、領収書の作成、送付

⑥ 広報委員会

- ・FROM11 の発行・送付(年 1 回)

⑦ モザイク委員会

- ・ビレッジ・ユースミーティング・セミナーキャンプなどの、国際プログラムの枠にとらわれない様々な活動を、モザイクプログラムとして実施する
- ・2026 年度は、6 月の壮行会または 9 月の帰国報告会、12 月のクリスマス会のどこかで 30 分ぐらいの枠を頂き、ワークショップを実施する。
また、1 年に1度は宿泊を伴うイベントをし、継続的なモザイク活動を行う

⑧ リスクマネジメント委員会

- 各種国際ルール更新時の周知対応
- ガイドライン、ルール適用状況の認、適用依頼の発出
- 緊急事態が生じた時の対応
- 大会委員会・STC 委員会と協力したキャンプサイト事前チェック
- 日本大会ミッドキャンプエバリュエーションへの参加
- STC、LTC、個人派遣者 その他の教育制度に参加し、リスク教育が適正に行われるようにする
- RAG 評価に関する回答書作成
- 国際で行われるリスクマネジメント研修に適切な人材を派遣し、リスクマネジメント有資格者を増やす

⑨ 財務委員会

- ・支部事業費の管理
- ・その他の費用の管理

⑩ 総務委員会

- ・情報の伝達 1 > 国際及び日本協会他支部からの情報や依頼事項を関東支部内委員会へ連絡
- ・情報の伝達 2 > 緊急時連絡のリスクマネジメント委員会の補佐
- ・正副支部長の実務担当 > 「公文書作成」
- ・委員会内の連絡・調整 > 関東支部委員会間の連絡及び調整
- ・名簿作成・発送 > 委員会名簿
- ・2025 年度プログラム参加者名簿作成及び管理
- ・会員管理 > 関東支部会員の異動状況把握、会費請求
- ・複数委員会、合同事業、ミーティングの調整・準備 > 「募集説明会」「選考会」「結団式」「壮行会」「報告会」「集合教育」「派遣見送り」等
- ・事務局管理 > 整備・備品管理・PC/コピー機/印刷機管理/事務員管理
- ・正副委員長会議の設定・準備 > 年 11 回開催
- ・保険契約 > ボランティア保険
- ・会場予約 > 関東支部主催の各会議及び集合教育等の会場確保 主にオリンピックセンター
- ・発送 > 総会関係書類(年 2 回)、合同募集説明会、等

⑪ 会員交流委員会

- ・会員交流のためのイベント企画・運営を行う
クリスマス会(12 月) ハンケットあり オリンピックセンター国際交流等レセプションホール
夏冬チーム結団式(3 月) 詳細未定
夏チーム壮行会(6/7 月) ハンケットあり 詳細未定
夏チーム報告会(8/9 月) 詳細未定
- ・リユニオン活動の補佐

⑫ STC 委員会

- ・開催する関東大会のスタッフの募集・選考の実施
- ・関東キャンプのキャンプディレクターおよびスタッフの募集・選考の実施(LTC と合同実施)
- ・スタッフ研修 Super Weekend の実施(2025 年度スタッフ向け)
- ・新旧トレーナーのスキル向上を目的としたトレーナー研修の実施
- ・大会委員会との連携
- ・STC 部会が実施する全支部合同研修への協力

16. 東海支部

① 総務事業

- | | |
|----------------|--|
| ○総務委員会 | ・支部委員会の開催(毎月)および案内
・会員情報データベースの整備
・歴代支部長会の開催
・補助金の申請 |
| ○財務委員会 | ・年会費の徴収、予算案の作成、決算書の作成 |
| ○広報・プロモーション委員会 | ・印刷広報物発行
・広報誌の発行(年 3、4 回)
・年間活動報告誌
・マスコミへの募集活動の広報
・広報プロモーション部会の基で各支部共通な事業を行う |
| ○デジタル委員会 | ・東海支部ホームページの管理
・デジタル部会の基で各支部共通な事業を行う |
| ○会員交流委員会 | ・歓送会、活動報告会、クリスマス会、新旧合同懇親会の実施 |

② 派遣事業

- | | |
|---------------|--|
| ○派遣委員会 | ・東海支部が派遣するプログラム参加者の募集及び選考
・東海支部が派遣するプログラムリーダーの募集及び選考
・旅行社との交渉
・ビレッジ部会の基で各支部共通な事業を行う
・ステップアップ部会の基で各支部共通な事業を行う |
| ○ユースミーティング委員会 | ・ユースミーティングのプロモーション並びに参加者の募集、派遣を行う
・ユースミーティング部会の基で、各支部共通な事業を行う |

③ 教育事業

- | | |
|---------------|---------------------------|
| ○教育委員会 | ・オリエンテーションの開催
・集合教育の実施 |
| ○リスクマネジメント委員会 | ・リスクマネジメント全般 |

④ 国内事業

- セミナーキャンプ委員会
 - ・セミナーキャンプへ参加者の募集、派遣を行う
 - ・セミナーキャンプ部会の基で、各支部共通な事業を行う
- モザイク委員会
 - ・モザイク事業の実施
 - ・モザイク部会の基で、各支部共通な事業を行う
- LTC 委員会
 - ・プロジェクト開催
 - ・リーダー、派遣児童生徒の教育一般
 - ・新リーダー/JC の研修全般
 - ・JNW、トレーナー研修への参加
 - ・集合教育(ACE)の実施
 - ・LTC 部会の基で、各支部共通な事業を行う
- ジュニア会
 - ・25 歳以下のプログラム経験者を対象とした、交流のプログラムの実施
 - ・機関誌の発刊
 - ・ジュニア部会の基で、各支部に共通な事業を行う

⑤ 支部事業

- 日本大会委員会
 - ・VL の開催 場所：さと館(予定) 期間：2026 年 8 月(予定)
- STC 委員会
 - ・スタッフトレーニングおよびサポート

17. 関西支部

支部活動を次の 3 領域、プログラム派遣、プログラム開催、支部基盤に分けて運営する。また、それぞれに担当の副支部長を就け、副支部長は関連する委員会と協力して活動を推進する。

① プログラム派遣

- 2026 年度に派遣を予定されているビレッジ、セミナーキャンプ、JC、ステップアップ、ユースミーティングの参加者を募集、選考の上、集合教育、派遣手続き、渡航・帰国報告、帰国後教育までを行う
- ビレッジ/JC については募集と教育を担当する委員会を分ける
 - ビレッジ・JC 募集担当委員会はビレッジ及び JC 派遣者に関する事項の募集をする
 - ビレッジ・JC 教育担当委員会はビレッジ及び JC 派遣者、保護者の教育をする
- ユースミーティング委員会、ステップアップ委員会、セミナーキャンプ委員会はそれぞれのプログラムの参加者の募集及び選考後の教育を行う
- 集合教育委員会は集合教育の主催(施設予約・使用料立替・参加者確認・報告・旅行業者との交渉、当日運営)を行う
- LTC(指導者養成)委員会は、STC(スタッフ養成)委員会と連携してリーダー、スタッフの募集及び選考を行う、また、各員会と連携し派遣に必要な教育を行い、随時保護者への情報提供も行う、特に新年度のリーダー教育に注力する
- JB 委員会は新派遣者及びパストキャンパーのジュニアを対象として集合教育などでアクティビティを行う
- 春・秋のハイキング等の企画進行を行う「ジュニア会ニュース」誌の発行(年 6,7 回)を行う

② プログラム開催

- 日本大会委員会
 - 2026 年 7 月～8 月に日本大会プログラム(YM)を実施する
 - 開催場所：未定 日時：8 月 9 日(日)～ 8 月 23 日(日)を想定
- STC(スタッフ養成)委員会
 - スタッフを募集、選考する、選考後はプログラムの準備に関してスタッフの教育を行う
- モザイク委員会
 - モザイクプロジェクトを地域団体と連携して実施する

③ 支部基盤

- 総務委員会
 - 支部会員・準会員の把握を行う
 - 支部委員会の招集と議事録の作成、庶務事項業務を行う
 - 事務局・事務員の支援と管理を行う
 - 総会・JAM の手伝い、支部の全発送などを行う
 - ボランティア活動保険への加入手続きを行う
- 財務委員会
 - 会員会費の徴収、寄付活動の管理を行う
 - 支部活動費・管理費等の予算執行管理と各委員会支援業務を行う
 - パソコン会計を確立し、会計業務の簡素化を計る
- 広報委員会
 - アニュアルレポートの編集・発行を行なう
 - 支部ニュース「Here we are」誌の発行(季刊・号外)を行う
- リスクマネジメント委員会
 - 緊急事態が生じた時の対応(緊急連絡先の把握・連絡先への周知)

- リーダー・スタッフへのリスクマネジメントの教育を行う
- 国際及び日本 CISV 協会でのリスクマネジメントに関する取り決め事項を、関係者が理解して遵守するように働きかけると共に 情報の提供を行う
- 。デジタル委員会
 - デジタル部会に対応し、協会や支部のデジタル化を推進する。

18. 九州支部

- ① 支部委員会
 - ・月に一度の支部運営委員会(ハイブリット)の開催 ・支部運営に関する全般的な把握 ・リスクマネジメントの把握
- ② 派遣委員会 (VL)
 - ・国内外で夏開催されるビレッジチーム派遣実施に向けての募集活動
 - ・ビレッジ参加者(児童(11 歳) ・JC(16-17 歳) ・リーダー(20 歳以上))の選考、派遣までの集合教育を行う
 - ・帰国報告会の実施 ・派遣後のエバリュエーション
- ③ LTC 委員会
 - ・新リーダーへの研修全般 ・リーダー選考のサポート ・トレーナーの育成 ・モザイク委員会、JB との協力
 - ・JB のサポート ・リーダー間の親睦を深め、継続的な活動が出来るようなプログラムを計画・実施
 - ・JNW,JAM,トレーナー研修への参加
- ④ ジュニア会 (JB 11-25 歳)
 - ・会員外の子どもたち(11 歳以下)にアピール、パストキャンパーとともにアクティビティを実施
 - ・機関紙「ファーストステップ」の発行 年 4, 5 回予定
 - ・継続的に参加できるプログラムを計画・実行(未来の JC・SC 参加者、リーダー、スタッフを育てる)
- ⑤ モザイク委員会(MO)
 - ・モザイク活動を実現するための支部活動(その一環として準備、地域団体との連携した活動を模索等)を計画し実施する。
- ⑥ ユースミーティング委員会(YM)
 - ・チーム派遣実施に向けての募集活動
 - ・リーダー、参加者(12-13 歳)の選考、集合教育(ミニキャンプも含む)を行う
 - ・派遣後のエバリュエーション
- ⑦ ステップアップ委員会(SU)
 - ・ステップアップ参加者募集、教育、派遣のサポート(派遣があった場合)
- ⑧ 広報・デジタル
 - ・CISV の認知度を高めるための活動(メディア、地域とのつながりを深める)
 - ・活動報告誌の発行 ・HP の更新と HP を活用した広報 ・会員交流を推進
 - ・my CISV の使い方および新規メールアドレス作成補助
- ⑨ 財務委員会
 - ・支部事業費・活動費の管理、運営 ・その他費用の管理 ・会費、寄付金の徴収
- ⑩ 総務委員会
 - ・支部委員会の議事録の記録、作成 ・支部委員会のサポート ・各行事の会場手配 ・グッズの管理
 - ・事務局の管理 ・備品の管理
- ⑪ 会員交流委員会
 - ・会員交流のための親睦会を企画実施
- ⑫ STC 委員会
 - ・次期スタッフのリクルーティング ・大会後に研修マニュアルの作成 ・JNW,JAM,トレーナー研修への参加 ・部会トレーニングへの参加
- ⑬ リスクマネジメント委員会
 - ・緊急事態が生じた時の対応や緊急連絡先の把握、周知
 - ・リーダー、スタッフへのリスクマネジメントの教育
 - ・国際、日本協会のリスクマネジメントの情報の把握と支部への通達、指導
- ⑭ 大会委員会
 - ・実施なし